

# 目指す姿の共有

# 共通の視点をもって取り組む校内研究

校内研究会を実施する日を事前に管理職と相談し、教職員の出張や他の会議が無い日を選びました。これにより、全教科の授業研究と研究協議会を全教職員で実施することが可能になりました。共通の取組として、今年度から始まった市共通の視点である「〇〇スタイル」に学校全体で取り組みました。

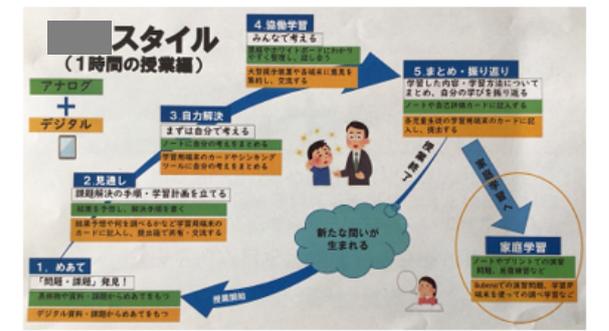
(校内研究のポイント)

子ども一人ひとりの学びの状況に応じた基礎的・基本的な知識・技能の指導の充実と、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点(発見・蓄積、分析・整理、再構築)を踏まえた授業づくりを目指す。この際、「個別最適な学び」や「協働的な学び」のツールとしてICTを効果的に活用する。また、「〇〇スタイル」での実践を試みる。



(〇〇スタイル「子どもが自ら学ぶ」とする授業)

子どもを主語にした授業サイクルの中で、これまでの実践とICTとの最適な組み合わせを実現し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。]



授業研究会は学年部・教科部と連携し、全教科で実施!



校内研究会で1人1台端末の効果的な活用方法を学ぶ様子



校内研究会で学んだ方法を取り入れ、授業改善を図る様子

個々の教員が取り組んできた実践について、共通の視点をもって全ての教員で協議することにより、より深い学びとなり、校内研究の活性化につながりました。管理職とも連携し、日頃から自由に授業を参観できる雰囲気の中で進めることができました。(G中学校 校内研究主任)